

令和2年10月5日14時00分
資料配布 淀川河川事務所

秋期企画展「河川工事と機関車－山から川へ土を運ぶ－」を開催します
－10月7日～12月6日 淀川資料館にて－

治水工事の歴史に関心を持ってもらうことを目的として、淀川資料館秋期企画展「河川工事と機関車－山から川へ土を運ぶ－」を開催します。

今回の企画展では、淀川の築堤工事で活躍した機関車などを、写真や図面で紹介しながら、淀川の治水工事の歴史をふりかえります。

1. 開催期間 令和2年10月7日(水)～12月6日(日) 午前10時～午後4時
第3土日・祝日(10月17日、18日、11月3日、21日～23日)は休館
2. 開催場所 淀川資料館 枚方市新町2丁目2-13
京阪電車「枚方市駅」から徒歩7分
※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
3. 入館料 無料
4. 展示内容 1. 近代土木工事と外国機械
2. 土を運ぶ機関車
3. 山から川へ土を運ぶ
4. 現在の堤防
5. 注意事項 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来館の皆様へマスクの着用や手指のアルコール消毒、氏名・連絡先の記入又は大阪コロナ追跡システムへの登録などをお願いしております。
なお、館内の混雑防止のため、入場制限を行う場合があります。
また、館内のトイレは使用できません。
ご来館にあたっては事前に淀川資料館ホームページ(<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum/index.html>)をご確認ください。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 淀川河川事務所
副所長 善本 隆典 (内線206)
調査課長 米森 一貴 (内線351)
電話 072-843-2861 (代表) F A X 072-843-0915

秋期企画展

河川工事と機関車

—山から川へ土を運ぶ—

淀川資料館

2020年10月7日(水)～12月6日(日)

現在の枚方市岡南町付近を走るSL



淀川資料館



開館時間：午前10時～午後4時

休館日：第3土日、祝日

(10月17日、18日、11月3日、21～23日)

入館料：無料

〒573-1191

大阪府枚方市新町2丁目2-13

TEL：072-846-7131

京阪電車「枚方市駅」から徒歩7分

※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



淀川資料館
ホームページ

ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum>

かつて、枚方や高槻、寝屋川をSLが走っていた！

大正から昭和30年代にかけて、淀川の堤防を築く工事で、土取場から淀川まで線路が敷かれ、SLが引くトロッコ列車が土を運んでいました。

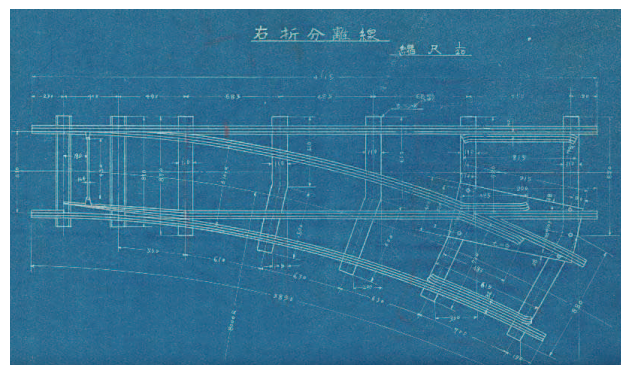
今回の企画展では、当時の写真や図面を紹介し、治水工事の歴史をふりかえります。



現在の枚方市蹠地区を走る



枚方市駅付近の線路図(想定)



分岐器(ポイント)の設計図面

同時開催 門真市立歴史資料館・市立枚方宿鍵屋資料館・淀川資料館・鴻池新田会所 合同展示

一人とモノを運ぶ

河内には淀川という日本でも有数の大川があり、京街道や古堤街道、東高野街道などが通り、大坂と京都、大坂と奈良、大坂と高野山を結んでいました。

4館が連携した今回の合同企画展では、以下の3館においても、河川や街道を利用して運ばれた人やモノに注目した展示を行います。

門真市立歴史資料館

【テーマ】
**資料が語る
むらとまちの交流史**

今回の展示では、物流に大きな役割を果たした街道や宿場、河川の様子を概観し、それらを支えた村々とのかわりについて明らかにします。

門真市柳町11-1
06(6908)8840
開館時間 9:30~17:00
休館日 月・祝日・特別整理期間
入館料 無料

市立枚方宿鍵屋資料館

【テーマ】
**人とモノを運ぶ
枚方の近世・近代**

鍵屋資料館では、これまで収集・調査してきた枚方市が所蔵する資料のうち、人とモノに関わる近世・近代資料を展示します。

枚方市堤町10-27
072(843)5128
開館時間 9:30~17:00
休館日 火
入館料 大人200円 中学生以下無料

鴻池新田会所

【テーマ】
古堤街道の移り変わり

古堤街道整備の意義や変遷を寝屋川の動向とともにパネルで解説します。

東大阪市鴻池元町2-30
06(6745)6409
開館時間 10:00~16:00
休館日 月・祝日の翌日
入館料 大人300円 小中学生200円